

セーゾ、ゼノアベニス等を除いては商工業上の利害を標準として對外政策を左右せしものを求むるに由なく、現代世界商界の覇者として雄視する英國の古代中世に於ける奮闘も、將今日新興の意氣激濁たる獨逸國建設の政策も、何等著しき經濟的動機の認む可きものなし。(註二)

然るに一轉して所謂二大航路の發見に伴ふ「マーカンチリズム」の時代に入るや、俄然として形勢を變じ、各國は争ふて權力を利用して經濟的發達を企つるに餘日なく(註三)斯くして成立したる各國々民經濟は更に諸種の原因に因て益々其經濟組織の擴張安固を期するに至り、所謂國民主義の時代たる十九世紀は去つて所謂國民的帝國主義の時代たる二十世紀を生ぜり。(註四)

註一 Cunnigham & McArthur, Outline of English Industrial History, 2nd Edition, Cambridge, 1898, p. 2.

註二 Hakluyt Egerton, Patriotism, London, 1905, p. 87—88.

註三 津村教授國民經濟學原論下巻六二八頁—六三三頁

註四 Reischel, World Politics, New York, 1909, p. 14.

一括して帝國主義と云ふと雖も消極的なる英國の帝國主義は積極的なる獨逸

の帝國主義と氷炭相容れず、産業的なる米國の帝國主義は武略的なる露國の帝國主義と黑白相反す。政策に於て異り、學說に於て遠ひ帝國主義者間未だ一定の見解なきこと社會主義者間一定の見解なきと相似たり。一定の見解なきは學說の發展幼稚なるが爲にあらざして、列強の政策が過去に於て千變萬化したるが如く、現在に於て千變萬化し、現在に於て千變萬化するが如く、將來に於て千變萬化せむとするが爲のみ。吾人は先に軍備の擴張と保護貿易政策とが帝國主義の二大手段たることを論述せり。保護貿易政策に依て經濟力を養ひ、養ひ得たる財力を提げて未開の國に侵入し、依て以て干涉の口實を作りて變に乗せむとし、頻に軍備の擴張を斷行して戰鬥力を養ひ、養ひ得たる兵力を擁して累弱の邦を脅迫し、頑として競争國に對して機を失せざらむとする是れ政策の根本なり。然り、是れ根本なりと雖も其政策決して之に盡くるにあらず。將と射るに先ちて馬を斃すの巧妙なるを覺れる各國は苟くも侵入すべき間隙あれば寸毫も之を看過せず。最近に於ける獨逸外交の端睨すべからざる之を證して餘あり。吾人が漠然帝國主義を目して新時代の新精神即ち世界列強の其政治經濟的領域を擴大結合せむとする

精神なりとなして敢て其末節に及ばず然も英米露獨の帝國主義を説くに當つては意を傾けて其標的を指摘し其趨勢を敘述し以て其真相を勞驗たらしめむとせし、意一に茲に存するのみ。

夫れ國民主義の十九世紀は二十世紀に與ふるに獨逸帝國と伊太利王國とを以てせり。國民的帝國主義の二十世紀が二十一世紀に残す所如何は遂に吾人の知る能はざる所筆を措き頭を回らして之を百代の後の史家に問ふ。

帝國主義論 終

明治四拾參年九月五日印刷

帝國主義論

明治四拾參年九月拾日發行

定價金壹圓貳拾錢

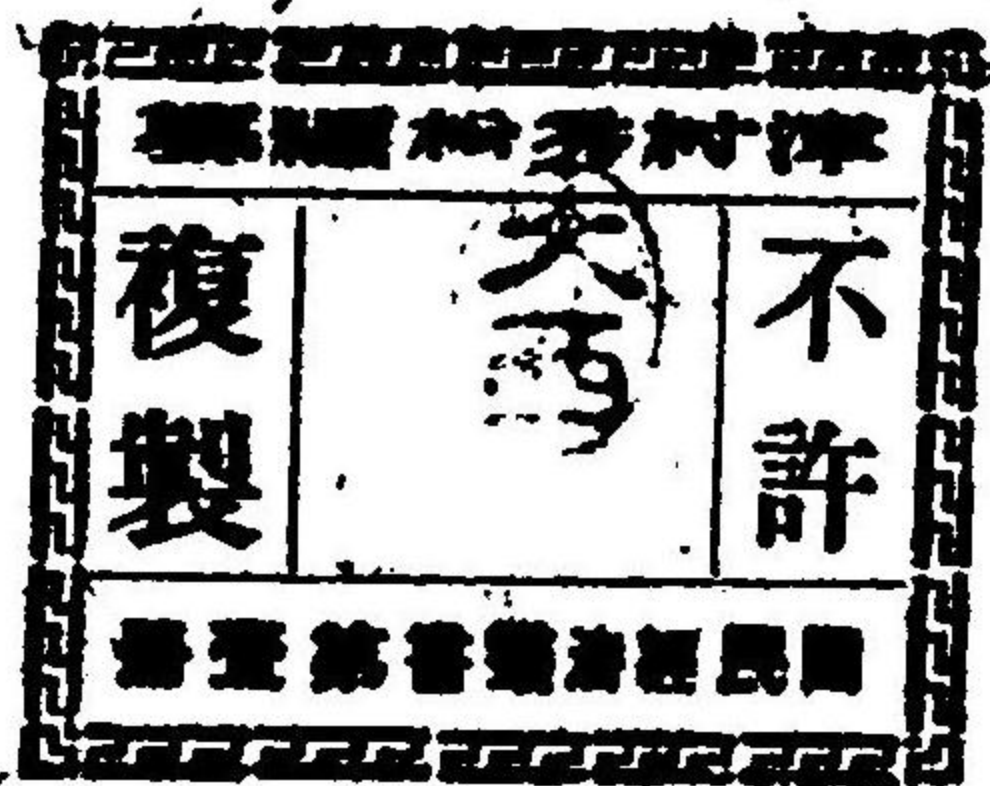
著 者 大西猪之介

發行者 大葉久吉

發行所 東京市日本橋區本石町三丁目三十七番地 吉岡平助

印刷者 青木弘

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地



發 兌

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區備後町四丁目

實文館

書叢濟經民國

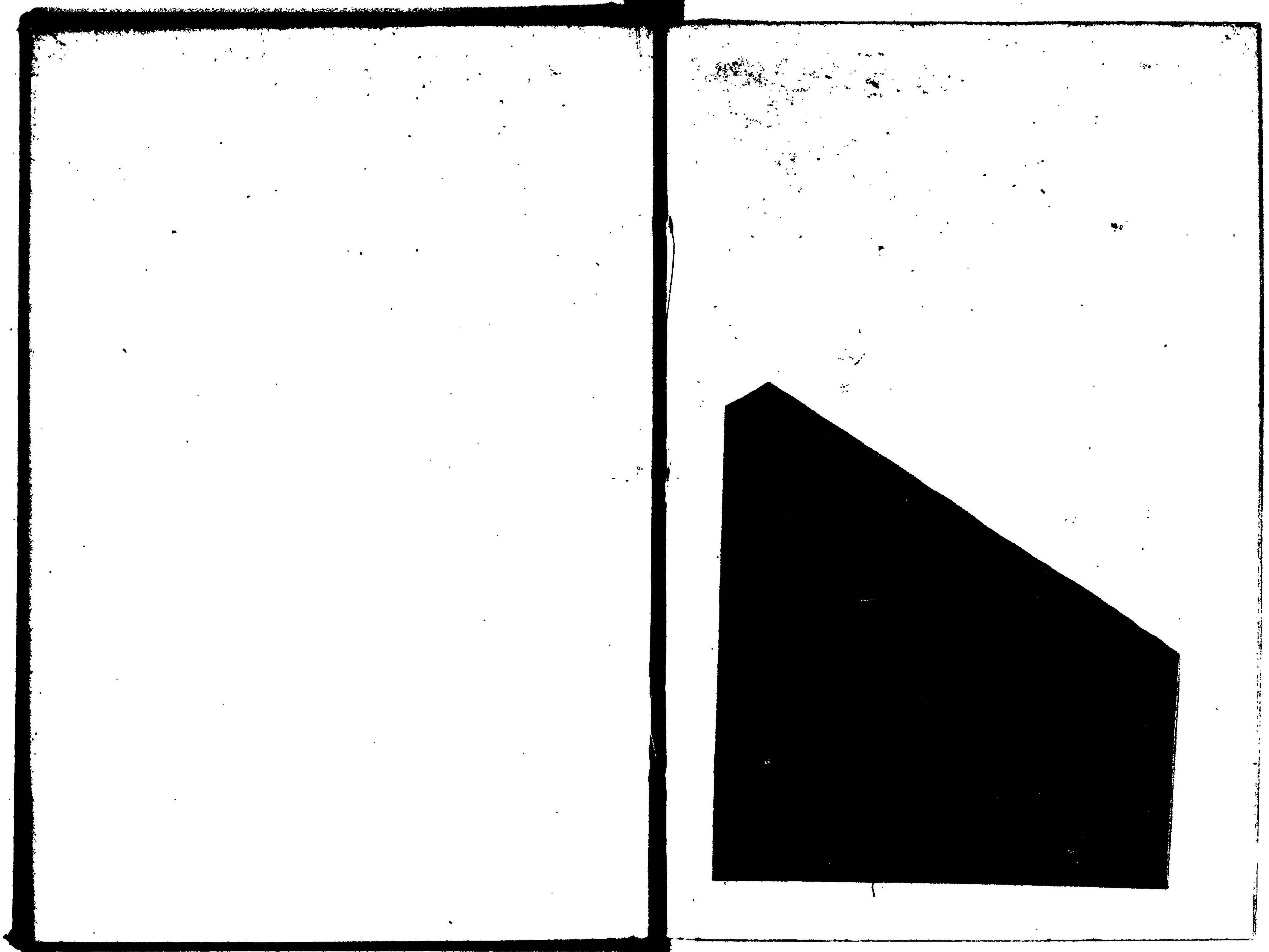
告豫册二第

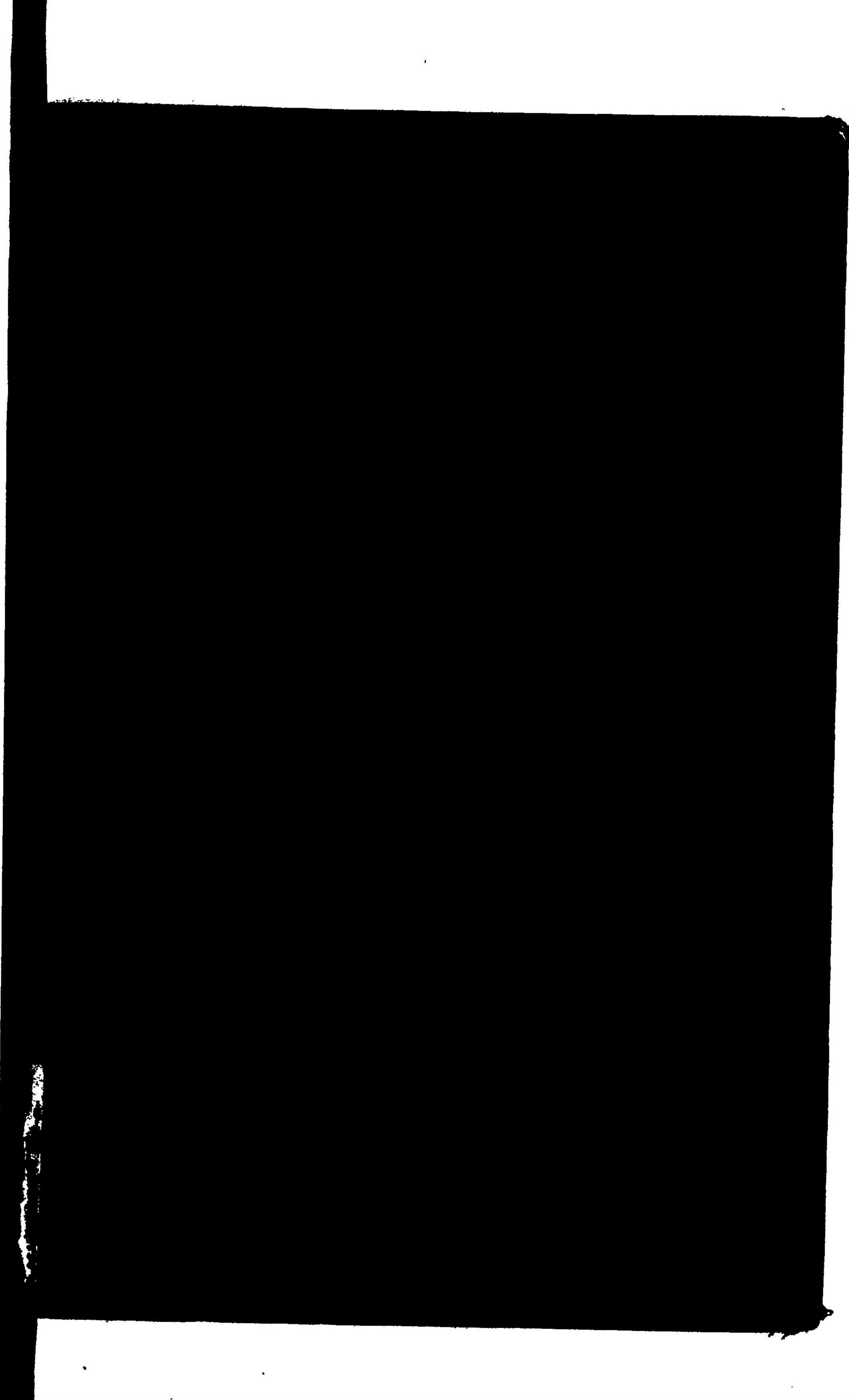
歐米に於ける産業組合の趨勢を論じて日本産業
組合に及ぶ。

津村 産業組合研究
秀松著

近全
壺
刊册

教授の博識、教授の才筆、世既に定評あり。吾人復何
をか贅せむ。





040361-000-9

339-0683t

帝國主義論

大西 猪之介 / 著

M43

BDD-0475



~~p. 1.25~~



治政	門部
43	冊書
	蹄番